

令和 4 年 3 月 4 日

総合政策局参事官(国際物流)室

## ASEAN 各国との物流分野での連携強化に向けて

### ～第 18 回 日 ASEAN 物流専門家会合の開催結果～

国土交通省は、令和 4 年 2 月 24 日(木)、第 18 回日 ASEAN 物流専門家会合を WEB 会議形式で開催しました。本会合では、ASEAN における質の高いコールドチェーン物流の促進、環境に優しいグリーン物流の促進及び物流サービスの向上に繋がる物流人材育成に向けた各種取組のほか、昨今の国際海上コンテナ需給逼迫にかかる影響や対応について情報共有を行いました。また、日本の物流事業者より、ワクチン輸送にかかる日本の経験について発表しました。

1. 日 時 : 令和 4 年 2 月 24 日(木)10:30～17:30

2. 出席者 : 合計 93 名

【日本側】国土交通省、物流事業者(三菱倉庫株式会社)

【ASEAN 側】ブルネイ、カンボジア、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの政府関係者、ASEAN 事務局

3. 議事概要 :

#### ①コールドチェーン物流の促進について

- ・ 国土交通省より、インドネシア、フィリピン及びマレーシアとの間で実施した二国間の政策対話等や本年 2 月に開催したマレーシアにおけるコールドチェーン普及啓発セミナーの結果の報告を行ったほか、日本提案により ISO に設置されたコールドチェーン物流に関する技術委員会(TC315)の取組を紹介し、各国へ当委員会への参加を呼びかけた。
- ・ ブルネイより、2020 年に政府全体で物流改善を議論するために設置したタスクフォースにおいて、日 ASEAN コールドチェーン物流ガイドラインをベースとした国家規格化に向けた議論を本年より開始した旨報告があった。
- ・ カンボジアより、コールドチェーン物流の促進に向けたアクションプランを年内に策定する予定であり、同アクションプランには、日 ASEAN コールドチェーン物流ガイドラインをベースとした国家規格化や認証体制の整備等が盛り込まれる予定との報告があった。
- ・ インドネシアより、小口保冷配送サービス規格である ISO23412 をベースとした国家規格の策定に向けて取組を進めている旨報告があった。
- ・ シンガポールより、冷蔵・冷凍食品の保管と輸送に関する国家規格を 2020 年に策定したとの報告があった。

## ②グリーン物流の促進について

- ・ 日本及び ASEAN 各国より、グリーン物流を促進する政策について情報共有を行った。
- ・ カンボジア及びベトナムより、今後、グリーン物流パートナーシップ会議を開催する計画がある旨発表があった。

## ③国際海上コンテナ輸送の需給逼迫への対応について

- ・ 国土交通省より、国際海上コンテナ輸送の需給逼迫に係る日本への影響及び日本の対応について紹介した。
- ・ シンガポールより、世界的なサプライチェーンの混乱を受けて、食糧の約 90%を輸入に依存している同国において、2030 年までに食糧自給率を 30%に引き上げる目標を掲げている旨説明があった。

## ④ワクチン輸送にかかる日本の物流事業者の経験について

- ・ 三菱倉庫株式会社より、日本国内のワクチン流通において、輸送や保管の際に留意している点や専用の輸送容器について説明があった。

### 【第 18 回 日 ASEAN 物流専門家会合の様子】



お問い合わせ先	総合政策局参事官(国際物流)室 高橋(昌)、木下、高橋(潤)
	代表:03-5253-8111(内線 25404、25425、25416)
	直通:03-5253-8800 FAX:03-5253-1559